

男子柔道部老野主将に UNIVAS AWARDS 最優秀賞

TEIKYO HEISEI Sports Journal

Vol.3

SPORTS UNITED TEIKYO HEISEI UNIVERSITY

全日本選抜優勝で今シーズンスター

本学男子柔道部の老野祐平主将(81キロ級、健康医療スポーツ学部4年)が4月1日に福岡で開催された全日本選抜柔道体重別選手権で優勝、今シーズンのスタートを飾った。老野選手は、文武両道ですぐれた成果を上げた選手・団体を顕彰する大学スポーツ協会(UNIVAS)の「UNIVAS AWARDS 2022-23」で、学生アスリート最高の栄誉である「マン・オブ・ザ・イヤー」の最優秀賞に選ばれている。

全日本選抜体重別選手権は階級ごとに選抜された8選手が参加。老野選手は決勝で昨年の講道館杯全日本選手権で敗れた釘丸将太選手(ハーク24)と対戦。ゴールデンスコアの延長戦に入った直後、小外掛の技ありで勝利し頂点に立った。

老野選手にとっては今大会が今シーズンの初戦。これに先だって3月6日に東京・芝公園のザ・プリンスタワー東京で開催された「UNIVAS AWARDS 2022-23」では、男子アスリート個人の部「マン・オブ・ザ・イヤー」部門で優秀賞8人から選ばれる最優秀賞に輝いている。

UNIVASは、NCAA(全米大学体育協会)をモデルに、大学スポーツの振興・発展に向けて全国の大学・競技団体などスポーツ関係者が競技の垣根を越えて連携を強化しようと2019年3月に創設された組織で、同年度から、競技成績ばかりでなく、学業、スポーツの安全対策、スポーツ振興などの分野で目覚ましい活



表彰を受ける老野選手

躍をした運動部学生やスポーツ関係の学生、団体を表彰してきた。今回は、個人8部門計112人と団体5部門計27団体が表彰されている。

老野主将は、昨年1月のポルトガルでの国際大会3位を手始めに、5月の全日本強化選手権会優勝、10月の全日本学生体重別選手権で優勝するなど輝かしい成績をおさめるとともに、主将として男子柔道部を牽引してきた。同時に、学業にも力を入れ、極めて優秀な成績を残すほか、練習拠点のある千葉・市原市の地域

活動支援センターで障害者自立支援看護の補助を行うなど、地域貢献にも積極的に取り組んできた。

最優秀賞受賞は、こうした活動が高く評価されたもので、表彰式では、大学スポーツ協会の福原紀彦会長から文部科学大臣賞が授与された。老野選手は、式典で「このような賞を頂き、大変嬉しく思います。自分の力だけでなく、多くの人に支えられて受賞することが出来ました。今後もしっかり支えに恩返し出来るよう頑張っていきたい」と喜びを語った。



成蹊大との開幕戦1回戦は緊迫した試合展開となった

東都大学野球春季リーグ開幕 新体制発進で悲願達成へ！



試合結果の速報はこちらのQRコードで。

編集後記

TEIKYO HEISEI Sports Journal vol.3をお届けします。創刊号発行から9か月。メディア部結成からまもなく1年となります。本学スポーツの発信拠点としてさらに一致団結して本学スポーツを盛り上げていきます。いよいよ野球シーズンも開幕しました。今年こそは、東都大学野球リーグ2部昇格を果たせるように、開幕戦から情報を発信していきますので、共に温かいご声援をよろしく願います。(比)
硬式野球の他にも、柔道、サッカー、バスケットボールといった競技で輝かしい成績を収めています。そういった部の魅力を伝えていきたいと考えています。今年もスポーツで帝京平成大学を盛り上げていければと思いますので、よろしく願います。(越)
本号は、鹿子嶋天良、比嘉理貴、南雲越喜が担当しました。

東都大学野球春季3部リーグが4月8日開幕した。昨秋に3部リーグを制しながら入れ替え戦で敗れた本学チームは、原克隆氏(前中部学院大野球部監督)を新たな指揮官に迎え、悲願の2部昇格を目指す。

3部は、本学のほか、学習院大、順天堂大、大正大、一橋大、成蹊大の計6校の総当たり戦で順位を競う。2戦先勝で勝ち点1となる。春季リーグは5月末までの日程。

開幕戦の対戦相手は、今季3部に昇格したばかりの成蹊大。一橋大グラウンドで行なわれた8日の1回戦。本学は6回、成蹊大に1点先制を許した。1点を追う7回、4番前田(幸)がレフト前ヒットを放ち出塁、5番佐伯の犠牲バントでチャンスを広げるも打線が続かず残塁に終わった。その裏、さらに1点を許し、8回はレフト越えの2点本塁打でダメ押しとなる2点を入れられ、4対0で敗戦、ほろ苦いスタートとなった。

試合後、原監督は「昨秋優勝したというディフェンディングチャンピオンとして負けられないという硬さが

出た。ただ、あと2勝すれば勝ち点1となるので、しっかり修正する。あくまで今季の目標は3部優勝、2部昇格」と今季にかける思いを語った。

9日の2回戦では、3回に9番中島(隆)、1番大石の連続安打で無死1、2塁とすると、2番中島(颯)の犠打で一死2、3塁から3番満田のセカンドゴロの間に中島(隆)が生還し、1点先制。この1点を、黒田、伊藤(翔)、堀込の投手リレーで守り抜き、1対0で勝利した。勝ち点1に向けて3回戦に臨む。

本学硬式野球部は、昨年1月、東都大学野球連盟に新規加盟。春の4部リーグ、秋の3部リーグを連覇したが、秋の2部との入れ替え戦では国士館大相手に第3戦までもつれ込みながら涙を飲んでいる。

(記事・南雲越喜 写真・比嘉理貴)

新入部員募集中！

私たちと本学のスポーツ 盛り上げませんか？

経験不問
帝京平成大学の
1・2年生
スポーツ・情報発信
新聞制作・写真に
興味がある方大歓迎！

入部希望者は以下まで
代表者：眞木雄太郎 (マキユウタロウ)
320D15058@edu.thu.ac.jp
顧問：佐々木良壽 (ササキヨシトシ)
yoshitoshi.sasaki@thu.ac.jp

Teikyo Heisei University
メディア部

活動内容：年に2、3回の新聞発行とネットを通じた情報発信